議題1 第1回懇談会での意見 について

第1回懇談会での意見



- ▶「SRTとして何がしたいのか」、「誰が何の目的で利用するのか」を明確にすべき。 そのコアがしっかりしていれば、その上に何が乗ってもそれほど問題はない
- ▶ SRTを市バスの一部として走らせるのか、メーグルのように全く違うものとして走ら せるのか、また将来的な事業展開によってもデザインの進め方が変わる
- ▶「先進性」ではなく、名古屋交通計画2030で目指す「**最先端**」を目指すべき。**使い方** が最先端など。またバスは「不安」な乗り物、DXで不安の解消を
- ▶ SRTの「<u>スマート</u>」を特化して「お利口さんな乗り物」のコンセプトを持たせ、**バスや 地下鉄とは全く別**な、賑わいをメインにした新しい乗り物として売り出してはどうか
- ▶広小路の昔の賑わいや産業都市としての建築の風格など名古屋は大人っぽい文化の まち。SRTに突出したデザインはあまり必要なく、大人っぽさが出るとよい
- ▶ 常に実験して走らせたりと、<u>試行錯誤して良いものを見つけていく</u>イメージ



SRTの目指すもの

- ▶ 都心部の回遊性の向上、賑わいの拡大
- ▶ 車両、走行空間、乗降·待合空間、運行 サービスが相互に連携した、

「新たな都市のシステム」



誰に乗ってもらうか (ターゲット)

名古屋都心への来訪者



観光



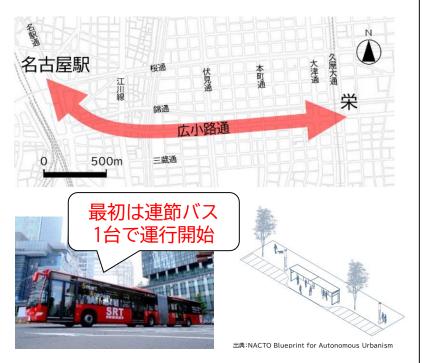
いつもより、ちょっと良い移動体験を。



■SRTの事業展開について

1 当初運行時

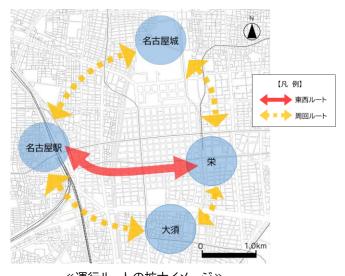
- 都心の中で特に移動が多い名古屋駅-栄間の「東西ルート」から SRTを導入
- 周辺で大型の開発が進み、沿道に店舗などが集積している広小 路通において、外観のシンボル性や車内の快適性を備えた連節 バスを運行
- 停車車両等の影響を受けにくく、賑わいの拡大につながるテラ ス型の乗降・待合空間を検討



≪当初運行時のルート及び車両、乗降・待合空間のイメージ≫

2 アジア・アジアパラ競技大会開催時

• 国内外から多くの来訪者があることを見据えて、当初運行ルート での効果や課題を検証しながら、事業規模の拡大を検討し、名古 屋駅駅前広場の整備状況にあわせた発着や、「周回ルート」の一 部実現を目指す



≪運行ルートの拡大イメージ≫

3 リニア開業以降

- リニア中央新幹線開業時には、来訪者など多くの方が名古屋駅 からSRTを利用し都心部の各拠点へ快適に移動できるように導 入を図る
- 先行して導入したルートでの効果や課題を検証しながら、

 最適な 都心部周回ルートの形を目指す





名古屋都心部の主な路線バス

<名古屋市交通局の市バス>



名古屋市営バス



都心ループバス (C-758)



基幹バス

市観光文化交流局が事業 主体、市交通局に運行を 委託





観光ルートバス(メーグル)



名鉄バス

議題2 SRTの魅力を高める 付加価値について





名古屋都心への 来訪者





SRTの付加価値

先進技術等の活用も含む

いつもより、ちょっと良い移動体験に。

SRT TD

SRTの利用が想定される人物像(都心への来訪者)

①ゆったり旅するご夫婦



年代 60~70代

出身 東海以遠

同行者 パートナー

特徴 歴史、文化

②名古屋を訪れた外国人



年代 40~50代

出身 国外

同行者 友人

特徴 情報を得たい

③都心に遊びに来た若者



年代 20~30代

出身 名古屋近郊

同行者 友人・単独

特徴 新しい物好き

④名駅で買い物のご婦人



50~60代 年代

出身 名古屋近郊

同行者 友人

新スポットが好き 特徴

⑤コスプレサミット参加者



20~30代 年代 出身 国外

同行者 友人

特徴 ついでに観光

⑥子ども連れの家族



20~30代 年代 出身 名古屋近郊

家族 同行者

子どもと楽しみたい 特徴

⑦出張のビジネスマン



30~40代 年代

出身 東京など

同行者 同僚・単身

特徴 ついでに観光



SRT TD

①ゆったり旅するご夫婦



年代 60~70代

出身 東海以遠

同行者 パートナー

特徴 歴史や文化が好き

時間に余裕あり

名駅周辺を散策したら、予約していたSRTで栄に向かう。車窓には、今の広小路通の風景に、路面電車が並走(ARで投影)。 栄で降りたら、AIコンシェルジュがお出迎え。「次の交差点で左折したらTV塔につきますよ!」、だって。

移動中のちょっと良い移動体験(楽しさ、快適性など)



https://report.iko-yo.net/articles/15709

確実に座れてのんびり移動 できる予約システムを導入



コミュニケーションAIを活用したサービス

公共交通における対話型ロボやAIコンシェルジュ



https://newswitch.jp/p/30527



https://ledge.ai/2020-03-16-4693241375e6f00aed3b77/



②名古屋を訪れた外国人



年代 40~50代

出身 国外

同行者 友人

特徴 種々の情報を得たい

スムーズに移動したい

海外では公共交通のクレジットカード決済が普及。両替する手間も省けて、やっぱりクレカやQR決済は必須だよね。

あとは、どこに行けば「名古屋 らしさ」を楽しめるかな。もう すぐSRTも到着しそうだし、 まずはオススメのところまで 行ってみようか。

各種決済の導入







わかりやすい情報提供の方法

SNSと連携し情報が表示されるサイネージ



https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000349.000069194.html

乗降場所での接近情報の表示



「SRT利用者×付加価値」その3

SRT TD

③都心に遊びに来た若者



年代 20~30代

出身 名古屋近郊

同行者 友人・単独

特徴 新しい物、珈琲、

おしゃれな空間が好き

キックボード持ってまちに来て、 色々散策したんだけど、疲れた しちょっと休憩 (@乗降待合 空間) 雨が降りだしそうだから、 SRTで名駅まで戻ろうかな。

あ、きたきた鼻

上質な乗降・待合空間、エリアの拠点性



車内の空間を柔軟に活用

自転車やキックボードなどの小型モビリティと一緒に移動





https://newstsukuba.jp/35018/31/10/



NAGOYA FRONTIER



X SRT

ハッチテクノロジー

企業と対話しながら、システム・コンテンツ制作の検討や、 都市DXに係る取組が出来ないか検討

常に更新されるシステムを目指す

議題3 デザインコンセプト(案) について



SRTの目指すもの「新たな都市のシステム」

目的	コンセプト	ターゲット
名古屋都心部の 回遊性向上 賑わいの拡大	・ みちの再生 による都心の魅力向上 ・ 地区間の連携を強化 する基幹公共交通 ・まちを訪れる人に 新しい移動価値 を提供	名古屋都心への来訪者

(SRT構想より)



デザインの基本的な考え方を整理



SRTのトータルデザインにおける4つの基本的な考え方

1 まちとの 親和性 近接性









2 明示性







3 名古屋 らしさ









4 将来性 (最先端、拡張性)





デザインコンセプト(案)に向けて

「まちとの親和性・近接性」 を重視

コンセプト例:A

都心風景の未来を先導



未来のシステムであること を感じさせ、今後、洗練さを 増していく名古屋の都心風 景を暗示するようなトータ ルデザイン

「明示性」「名古屋らしさ」 を重視

コンセプト例:B

歴史・文化の未来への継承



街の風景に対して突出し、 視覚的に目立つことでSRT の認知を高める また、わかりやすい地域特 性を用いることで、来訪者 に非日常な移動体験を提 供するトータルデザイン